

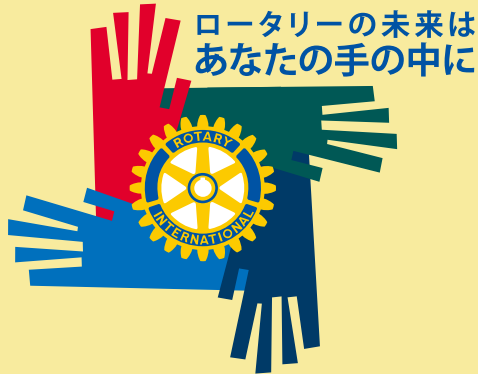


神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2009-2010年度 R I 会長 ジョン・ケニー



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

2009-2010年度 第2590地区ガバナー 野坂 定

- | | | | |
|-----------|--------|-----------|--------|
| ● 会長 | 河野 明光 | ● 会長エレクト | 横山 範夫 |
| ● 副会長 | 古川 陽太郎 | ● 副会長 | 石川 正三 |
| ● 幹事 | 山田 正憲 | ● 副幹事 | 飯田 泰之 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 月山 勇 | ● 副 S A A | 伊澤 政宏 |
| ● 副 S A A | 矢野 修二 | ● クラブ会報 | 森 永健 |

●クラブテーマ「信頼」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2009-2010年度 第45号週報 No. 1651 2010年(平成22年) 6月4日 第1651回例会記録 6月11日発行

司 会

飯田 泰之 副幹事

誕生日祝

佐藤 勝彦 会員 (6月9日)

点 鐘

河野 明光 会長

斉 唱

「君が代」「奉仕の理想」

四つのテスト

伊東 英紀 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

石津 祥介 様 (ゲストスピーカー)
2010学年度 米山奨学生 曹 莹 様

ビジター紹介

川崎 R C 野渡 和義 様



本日〈6月11日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 牛フィレ肉のポワレ わさびソース
- ◆ 卓 話 「中国国有企業改革に伴う失業、及び社会保障」

2009-2010学年度 米山奨学生 曹 莹 様

特別行事

米山奨学金贈呈

曹 莹 様



皆様こんにちは。

先日、皆様とともに上野に行きまして、とても楽しかったですけど、雨の日でちょっと残念でした。でも、企画して頂いた方にありがとうございます。

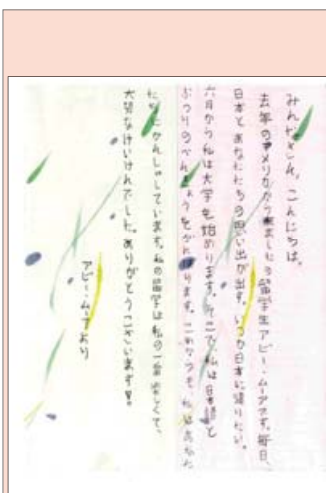
最近日本女子大学で、社会福祉について研究している沈潔先生といろいろ話し合い、介護保険に関する討論をしました。高齢化が急速に進んでいる中国には、介護保険の重要性と必要性が大変あると思いますが、現時点の難しさがよく理解出来るようになりました。

来週の卓話は中国の社会保障について詳しく紹介したいと思います。宜しくお願いいたします。

会長報告

河野 明光 会長

昨年度、当クラブにて受入れをしておりました国際青少年交換学生 Abbey Moore より手紙が届いておりますので、紹介致します。



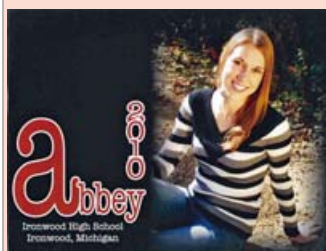
みなさん、こんにちは。

去年、アメリカから来ました留学生アビー・ムーアです。毎日、日本とあなたたちのことを思い出します。いつか日本に帰りたいです。

6月から私は大学に行きます。そこで私は、日本語と物理の勉強を頑張ります。これからも私はあなたたちに感謝します。私の留学は私にとって一番楽しい大切な経験でした。

ありがとうございます！

アビー・ムーアより



幹事報告

古川陽太郎 副幹事

- ・第4・第5グループINTERCITY MEETINGの報告書が届きましたのでボックスへ配布致しました。
- ・たんまち福祉活動ホームより15周年記念誌が届いておりますので回覧します。
- ・ローターアクト地区協議会の案内が来ておりますので回覧します。
- ・次週、例会終了後に6月度定例理事会がございます。理事役員の方はご出席のほどよろしくお願い致します。
- ・次々週18日(金)、例会終了後にクラブ協議会がございます。各委員会委員長の方はレポートの提出を事務局宛にお願い致します。締切は次週11日(金)です。よろしくお願い致します。

◎例会変更のお知らせ

*横浜西ロータリークラブ

平成22年6月16日(水) 夜間例会 点鐘17:30

例会後、「創立記念家族会」

*横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

平成22年6月29日(火) 夜間移動例会 点鐘18:00

場所 「あいちや」

*横浜田園ロータリークラブ

平成22年6月29日(火) 移動例会 点鐘18:30

場所 「米宗」

委員会報告

雑誌委員会 委員長 竹山 洋

6月は親睦活動月間です。

横組み6～11ページ

自分の趣味を生かして活動し、その仲間からロータリアンを増やし、活動を通して支援金を集めたりしています。

いくつかの例がでているのでご覧下さい。



横組み36ページ

ロータリーの友事務所を法人化することになりました。記事によると、名誉棄損の訴えなどに備える為保険に入らなくてはならなくなり、その為に法人化されます。

目を通してご理解下さい。

縦組み7～11ページ

「くらぶ探訪」は東京ロータリークラブです。日本最初のクラブとして、大変興味深い記事になっています。

スマイルボックス

矢野 修二 副SAA

石津祥介様

お世話になります。

川崎RC 野渡和義様

初めてお邪魔しました。活気あるクラブと定評あるところを勉強できればと思います。

卓 話

「男のファッション、大人のおしゃれ」

(有)石津事務所 代表取締役 石津 祥介 様
(紹介者 天野 公史 会員)



皆さん、こんにちは。

民主党の党首が新たに決まる日、そして君が代が始まる会にご覧の通りのナンパ者が話をして良いものかどうか、いささか畏れ多い気もしますが、始めさせていただきます。

石津謙介の長男と言われ、気恥ずかしい気もしますが、父が生きていれば来年100歳です。私も高齢者の仲間入りをしてもおかしくない歳になりました。

皆様との接点であった百貨店・専門店から量販店へと変わり、アパレル業界は大変苦勞をしております。21世紀形の服飾文化が出てくるでしょうが大変な時代です。女性はとっくに変化しているが、男は100年背広という形にこだわっている。勇気のある人だけがおしゃれをマスターして行くのです。

女性、そして一部の青年を除き、帽子、メガネについても習慣に左右されています。似合う、似合わないというのは、普段見慣れているか見慣れていないかの差であって、あとは身近な人の評価が大いに関係して来ます。

おしゃれをどうしてするのかということ、異性を意識することが大きく影響しているのです。“性”という字は生きる心と書きます。5年後、日本人の平均年齢は51.7歳だそうです。良い人生、良い意味でのナンパ心を持ち続けたいものです。

ファッションには生きて行く為に着る服と人の目を少しでも意識する服と2通りあります。前者はおしゃれと言うよりも実用性を重んじます。後者の代表格の1つが和服になると思いますが、食文化の発展とは対照的に廃れつつあります。浴衣など、若い女性の間でアレンジ形が見つけられ、21世紀の新しいタネとして育てて生きたいと思えます。衣文化が西洋化しすぎた点を反省し、伝統ゆえの新しい文化への変化の芽を摘むことのないよう見守りたいものです。

私の今日の服装は、白のジーンズにラフなジャケットですのでネクタイをリボン風にアレンジし、変化をつけました。

皆さんロータリアンが率先し、勇気を持ってチャレンジして欲しいと思います。

河野明光君 ①昨日開かれました第3テーブルミーティングでは、友添マスター、山田副マスター、ご苦勞様でした。活動の基軸こそ親睦であることを再認識させて頂きました。③石津祥介様、本日の卓話楽しみにしています。

富居利貞君 皆様、ご無沙汰致しております。

飯田 昇君 ①久しぶりに出席しました。②岩澤さん、お氣にかけて頂きありがとうございます。

山本 登君 本日、所用にて早退致します。ご容赦下さい。

山田富雄君 昨日のテーブルミーティング、友添マスターご苦勞様でした。また、出席の皆様、有意義なお話をありがとうございます。

伊東英紀君 昨日のテーブルミーティング出席の皆さん、ご苦勞様でした。

西山 潔君 今日はムシ菌予防デーです。菌のある人もない人もロータリアンは歯が命！！

横山範夫君 昨日の第3テーブルミーティング、マスターの友添さん、副マスターの山田富さん、ご苦勞様でした。

天野公史君 石津祥介様、本日はお忙しいところ、ありがとうございます。楽しみにしておりました。

脇田いすゞさん 良いお天気が続きます。暑いけどやはり雨より良いですね！

茂木知子さん 先般、大野一雄先生の訃報が朝日新聞に載っていました。今から思うと、先生の授業はとてもユニークだったのです。先生の太鼓に合わせて蝶になったり花になったりして舞うのです。10代の娘達にとって、恥ずかしく、真面目にはやっていませんでした。先生、安らかに。

赤堀和人君 昨日の第3テーブルミーティング参加の皆様、お疲れ様でした。河野会長、ご馳走様でした。田中龍太郎さん、ちゃんと家に帰りましたか？大変ご馳走様でした。

竹山 洋君 第3テーブルミーティング、友添マスターお世話になりました。

友添辰哉君 第3テーブルミーティング参加の皆さん、お疲れ様でした。芦沢さんも加わり、意見交換が出来ました。

月山 勇君 昨日の第3テーブルミーティングでは、友添マスター、山田(富)副マスターには大変お世話になりました。芦沢さんも元気そうで良かったですね。

6月4日	17件	52,000円
本年度累計		2,140,524円

出席報告

茂木 知子 委員長

会員総数	59名	(46+13)名	
出席会員数	45名	(37+8)名	
出席率	83.33%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	89.09%	前々回補正後	88.68%

ロータリーミニ情報

「ウガンダの子どもたちに生きるチャンスを」

ムランブジ・ジョシュア君にとって5歳の誕生日を迎えるということは、とても大きな意味をもっていました。

その日、ムランブジ君は、ウガンダのカンパラ郊外にある学校に再び通う為に心臓手術後の療養生活を送っていました。彼は「ギフト・オブ・ライフ・インディア（命の贈り物）」のプログラムを通じて無償で心臓手術を受けたウガンダの子ども20人の中の一人です。

ロータリークラブの支援を受ける世界65のプログラムの一つであるギフト・オブ・ライフ・インディアは、心臓疾患の治療を必要とする貧しい家庭の子どもたちを救う為に設立されました。手術に必要な資金は、デリー・ミッドウェスト・ロータリークラブ、第3010地区（インド）、そして韓国の全17地区が提唱したロータリー財団のマッチング・グラント105,000米ドルを通じて提供されました。

1月、生後11カ月から12歳までの子どもたちがニューデリーに移動し、3カ月間の闘病生活をスタートしました。エスコート心臓研究センターと国立心臓病院の医師が手術を行い、子どもたちが抱えていた先天性の心臓欠陥を治療しました。中には、緊急の対応を必要とするほど深刻な容態の子どもたちもいました。

「多くの子どもたちはもっと早くの手術を必要としていました」とデリー・イースト・エンド・ロータリークラブの会員で、ギフト・オブ・ライフ・インディアのコーディネーターを務めるA.C. ピーター医師は述べます。「手術を終え、皆、ほかの子どもたちと同じように健康で充実した生活を送れるようになるでしょう」

ギフト・オブ・ライフ・インディアは、2002年、第7250地区（米国ニューヨーク州）によって設立されました。それ以来同プログラムは、ロータリークラブ、及びマッチング・グラントによる支援の下、インド、ケニア、ネパール、パキスタン、スリランカ、スーダンに住む500人以上の子どもたちに手術を提供して来ました。同プログラムは、医療チームの編成や手術を必要とする患者リストの入手にあたり、ギフト・オブ・ライフ・インターナショナル（世界中のギフト・オブ・ライフの活動を支援する為に2003年に設立）から援助を受けています。

つながりを築く

この1月のマッチング・グラント・プロジェクトは、1年前にギフト・オブ・ライフ・インディアがギフト・オブ・ライフ・インターナショナルの「Our Hearts are in Uganda」キャンペーンの一環として、2件の手術を行うことに同意したことがきっかけとなって実現しました。同キャンペーンによって、60人のウガンダの子どもたちが、13カ国で治療を受けることが出来ました。

エメラルド・シティ・ロータリークラブ（米国ワシントン州、シアトル）会員で韓国生まれのブレット・ハルバーソンさんは、一人の子どもとその母親に付き添い、ソウルの空港から地元の病院まで同伴しました。より多くのウガンダの青少年を助けようと韓国のサンクー・ユン元地区ガバナーと当時ガバナーエレクトであったヨンソック・ユンさんが、かつてギフト・オブ・ライフによって自らも治療を受けたハルバーソンさんにプロジェクトの続行を提案しました。3人

は、英国バーミンガムで開かれた2009年R I 国際大会で、ピーター医師、スシル・グプタ元R I 理事、更にギフト・オブ・ライフ・インターナショナルの創設者であるロバート・ドンノさんと面会し、1月のマッチング・グラント・プロジェクトの具体的な計画を練り上げました。

「すべてが順調に進みました」と、ハルバーソンさん。「このプロジェクトの一員として、自分がかつて経験した境遇に置かれている子どもたちの為に活動出来、とても幸せです」

韓国のロータリアンは、地区財団活動資金（DDF）を共同出資しました。現在、ソロティ・セントラル・ロータリークラブ（ウガンダ）の会員で、幼少時にギフト・オブ・ライフによる初の心臓手術を受けたグレイス・アグワルさんは、ウガンダのロータリアンと協力して心臓手術を望む子どもを探し出し、その家族に手術について説明し、渡航の手配をしました。更に、デリー・イースト・エンド（インド）のクラブ会員は、空港で手術を受ける子どもたちを迎え、それから毎日のように、子どもたちのお見舞いに病院を訪れています。

「韓国の17地区すべてからDDFを集めることは大変でしたが、3650地区（韓国）のユンさんが大いにリーダーシップを発揮してくれました」と述べるユン元地区ガバナーは、国際的な奉仕プロジェクトを行う上でロータリーのネットワークがとても重要であると強調します。

つい先日には台湾のロータリアンが、今後の心臓手術の為に110,000米ドルをギフト・オブ・ライフ・インディアに寄付することを誓約しました。

記事：Peter Schmidtke
国際ロータリー・ニュース

6月度定例理事会議案

日時 2010年6月11日（金）
会場 ホテルキャメロットジャパン 4階 フロントシア
議題

《報告事項》

- (1) クールビズ実施の報告
- (2) その他

《審議事項》

- (1) 春の家族会決算承認の件
- (2) 退会届受理承認の件
- (3) 出席規定免除申請承認の件
- (4) ロータリー財団学友会賛助金支出承認の件
- (5) 機密文書リサイクルサービス利用承認の件
- (6) その他

次回《6月18日》の卓話予定

年度末挨拶

会長、副会長、幹事、会計